

熊彫りの父のもと12歳から木彫りの世界に入り、北海道の木彫りの先駆者として活躍し、アイヌ民族の入念な時代考証から生み出される等身大立像など大作を多く制作してきた。また、熊や日本で絶滅した狼の作品は、毛の一本一本まで表現しており、見るものに感動を与えている。

また、レーニン博物館への「レーニン胸像」の制作、皇太子ご夫妻への「丹頂鶴レリーフ」の献上、スミソニアン博物館や道立近代美術館への出展など、世界的に活躍しており、その作品は国内外で高く評価されている。

平成26年には、JR札幌駅にアイヌ民族をモデルとした、等身大立像「ク・リムセ 弓の舞」が設置され、アイヌ民族への関心を高める契機となっており、アイヌ民族の精神と文化の伝承に貢献している。

## ◎受賞者の主な略歴

- S 21 木彫り活動開始（熊を掘り始める）
- S 39 阿寒湖畔に民芸店開店
- S 46 レーニン生誕100年を記念し「レーニン胸像」の制作依頼を受け納める
- S 58 世界自然保護基金会長エジンバラ公に「怒り熊」献上
- S 59 皇太子明仁親王ご夫妻に「丹頂鶴レリーフ」献上
- H 6 「AINU Spirit of a Northern People 展」（アメリカ合衆国スミソニアン国立自然博物館）
- H 25 「風のかたりべ・AINUART」（北海道立近代美術館）  
赤平市に「アイヌ木彫匠館・藤戸竹喜の神髓」美術館オープン  
あかん湖鶴雅ウイングスに藤戸竹喜作品常設展示場開設
- H 26 JR札幌駅にアイヌ等身大立像「ク・リムセ 弓の舞」設置  
釧路市文化賞

